

平成26年度 「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の用途について

平成26年度 寄附金合計（平成27年1月20日現在）

60,352千円

寄附者 5,595件

皆様からいただいた寄附金は、一旦「オホーツクの流氷と自然を守る基金」に積み立て、皆様からご指定いただいた目的に合った形で下記の事業に使わせていただきましたのでお知らせいたします。

※「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」は、寄附をいただいた翌年度の事業に使わせていただきます。（平成26年度にいただいた寄附金は、平成27年度の事業に使わせていただきました。）

平成27年度 オホーツクの流氷と自然を守る基金充当事業の内訳

1. アザラシの保護活動などオホーツク海の海洋環境に関する事業（延3,032名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
とっかりセンター指定管理経費 「オホーツクとっかりセンター」では、傷ついたアザラシや親からはぐれた幼獣を保護・治療し、野生復帰させる活動を行っております。この施設と保護活動を運営する経費に充当させていただきました。	25,827千円	24,387,000円	アザラシ保護活動では、アザラシ新生児を保護しました。とっかりセンターでは、野生復帰に向けたトレーニングをさらに充実させていくため、飼育環境下でアザラシの生理・生態などの基礎情報を収集し、将来に向けたノウハウを蓄積しております。

2. 地球環境の変化などに対応する環境保全啓発活動に関する事業（延1,986名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
北方圏国際シンポジウム開催事業 紋別市が昭和61年より毎年開催している「北方圏国際シンポジウム」は、『オホーツク海と流氷』をテーマに国内外の研究者による氷海・海洋研究の発信や情報交換の場として定着しています。この開催経費に充当させていただきました。	5,699千円	4,650,000千円	H28.2.21～2.24開催。 学術シンポジウムには、研究者144名（内、海外研究者26名）の参加がありました。優れた発表を行った若手研究者を称える「青田昌秋賞」の受賞を目指し、活発な研究発表や議論が行われました。 また、市民や子供を対象とした関連行事として以下の様々なシンポジウムやイベントを行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・氷海の民シンポジウム ・オホーツク地域の暴風雪を考える ・森から海の連環を考えるシンポジウム ・オホーツク～ふるさとの海 ・教育シンポジウム～中学生の部～ 中学生による総合学習報告 ・子どもと親の流氷シンポジウム 科学者がサイエンスショーを行い、小学生が科学について楽しみながら学習しました。

平成26年度 「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の用途について

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
オホーツクプログラム推進事業 (構想促進業務委託) オホーツク海に関連した産業や学術研究に貢献することを目的として、紋別市において海洋の基礎データ（水温、プランクトン、流氷初終日）および流氷分布の観測を行っています。この経費に充当させていただきました。	10,282千円	8,307,000円	・オホーツクタワーで観測している水温、プランクトン、流氷初終日の情報を市のホームページで公開しています。また大山ドップラーレーダーを北海道大学と共同運用し、紋別周辺の流氷の位置や分布状況をインターネットで公開しています（30分毎に更新）。

3. 森林の適正な育成管理に関する事業（延1,838名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
オホーツク魚の市民植樹祭事業 美しい森は、めぐりめぐって人の住む「里」やとっかりの棲む「海」すべてを豊かにします。植樹祭は、市民参加による植樹を通じて「森里海の連関」を感じてもらい、森林が提供する公益的機能を認識していただくことを目的としています。この開催経費（植樹の苗木、地拵え等）に充当させていただきました。	600千円	600,000円	H27.5.24開催。 20回目の開催となった平成27年度は、330名の方に参加していただき、市有林大山団地に315本を植樹しました。植樹面積は0.25haとなります。
緑の循環森林認証推進事業 紋別市は、適正な管理が行われていることで認証される「森林認証制度」の普及を進めています。認証された市有林のPRや、民有林の森林認証取得活動事業に充当させていただきました。	5,470千円	5,469,800円	<ul style="list-style-type: none"> ・紋別市全森林面積65,706haのうち認証森林面積は58,336ha、認証率は89%となりました。 ・一般森林所有者の森林認証取得を推進しました。 ・認証材活用住宅を建築し、広く認証材をPRしました。
森林作業員長期就労促進事業 森林内での作業は重労働かつ季節雇用であり、作業員が定着しづらい環境です。このような状況を改善していくため、森林作業員の就労及び安定化を目的として創設された制度であり、森林作業員への奨励金に充当させていただきました。	1,699千円	1,405,000円	就労日数13,572日、従業員63人に対し奨励金を支給し、就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力を確保しました。
林道・公園施設等維持補修経費 紋別市内における林道及びオホーツク森林公園の機能保全するための維持管理補修費等に充当させていただきました。	5,626千円	4,600,000円	林道維持管理工事（11件）や林道大山線の冬季除雪（22回出動）による林道の機能保全を行いました。

平成26年度 「オホーツクの流水と自然を守る寄附金」の用途について

4. 湖沼、河川の適正な管理に関する事業（延1,372名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
公害対策事務経費	2,873千円	2,852,492円	市内6河川（7地点）で年に2～4回、2湖沼（3地点）で年3回の水質検査分析を行いました。いずれも水質に問題はありませんでした。
紋別市は、オホーツク海に注ぐ渚滑川や、海に隣接するコムケ湖といった水資源が豊富です。大切な水資源を守るための水質検査分析経費に充当させていただきました。			
最終処分場運営管理経費 （水質土壌分析業務委託）	4,050千円	2,044,197円	紋別市廃棄物埋立処分場から排出される浸出水と放流水の水質検査（月1回）及び土壌分析（年1回）を行い問題ありませんでした。また、当該処分場の廃止に向けて廃止基準に係る発生ガス、地温及び沈下量調査を行いました。
昭和52年から使用の紋別市廃棄物埋立処分場の維持管理基準に掲げられている水質検査及び土壌分析経費に充当させていただきました。			

5. その他、市長が必要と認める事業（延1,058名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
休日夜間急病センター運営管理事業	150,619千円	9,794,000円	医師、看護師が確保でき、センター内の諸体制の充実を図り、休日・夜間に無事に通年（365日）開院することができました。
紋別市にとって喫緊の課題である、逼迫した地域医療体制再構築に際し、休日夜間急病センターの運営管理経費に充当させていただきました。			

お一人で複数の使いみち指定がありますので、寄附者数と各事業への寄附者は一致しません。

なお、前年度からの繰越や、予算化の時期の関係から、平成26年度の寄附金総額とは一致しません。